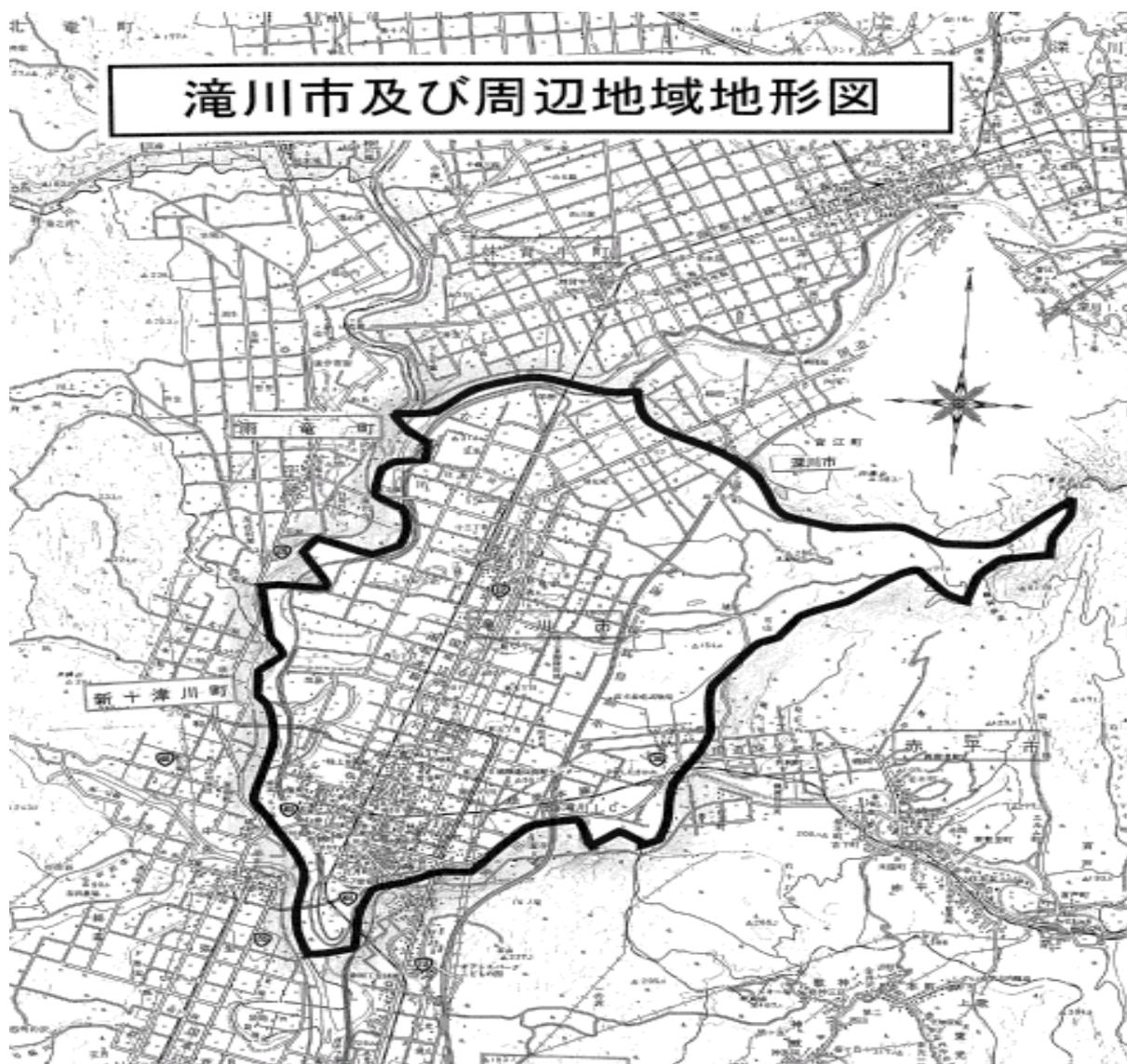


第4章 市の地理的、社会的特徴

市は、国民保護措置を適切かつ迅速に実施するため、その地理的、社会的特徴等について確認することとし、以下のとおり、国民保護措置の実施に当たり考慮しておくべき市の地理的、社会的特徴等について定める。

(1) 地 形

本市は、北海道のほぼ中央にあって、東端は東経 142° 05′ 08″ 西端は東経 141° 52′ 38″ 南端は北緯 43° 31′ 46″ 北端は北緯 43° 40′ 20″ に位置し、空知川と石狩川の合流点で両河川に挟まれた地勢にあり、面積は 115.82 平方キロメートルで、地形的には石狩川と空知川によって発達した沖積平野と河岸段丘及び丘陵地帯から成り立っている。



(2) 気 候

本市の気候は、滝川市の統計資料の過去10年では、夏季に30度以上、冬季には氷点下20度以下の日が見られるなど、夏季と冬季の温度差が大きい典型的な内陸性の気候を呈しており、年平均気温は6.5℃となっている。降水量も比較的多く、過去10年の年平均降水量は1,241mmで、雨の多い月は台風の影響を受ける8月、9月頃となっている。

冬期間の降雪量は、年によっては年間10m以上を記録している状況にあり、特別豪雪地帯となっている。年間日照時間は、約1,420時間程度で、75%以上を4月から10月までにおいて占め、冬期間の日照時間は少ない。

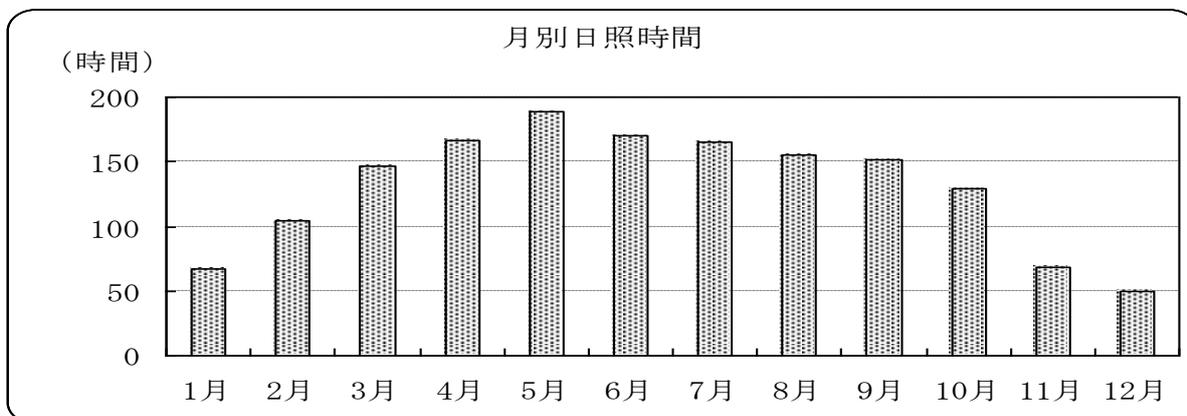
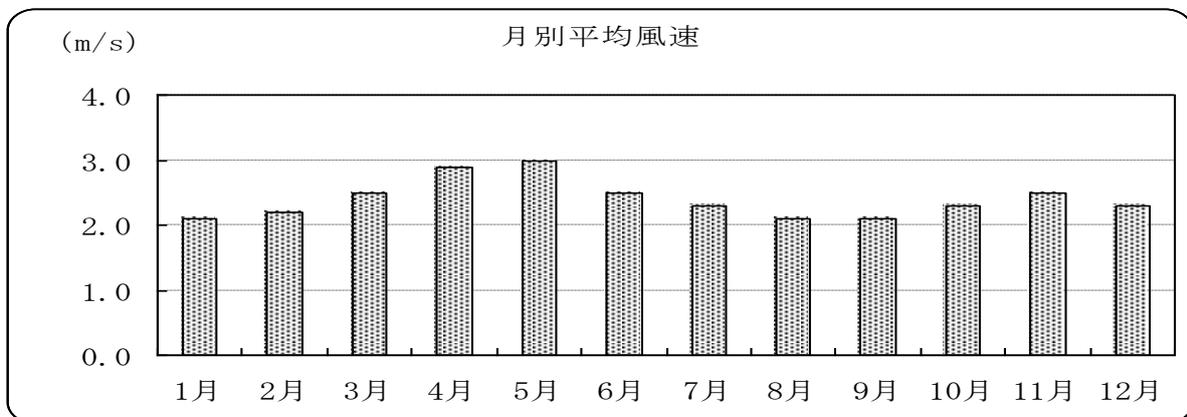
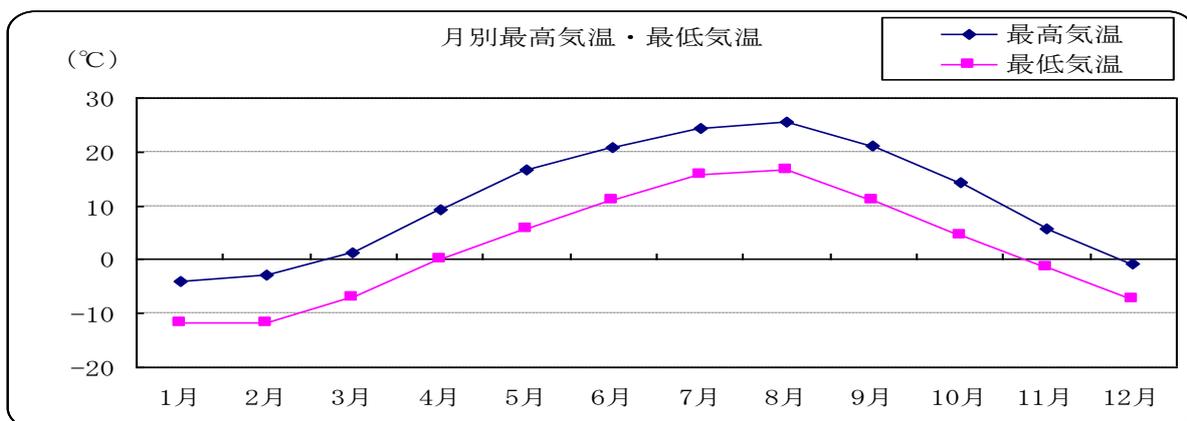
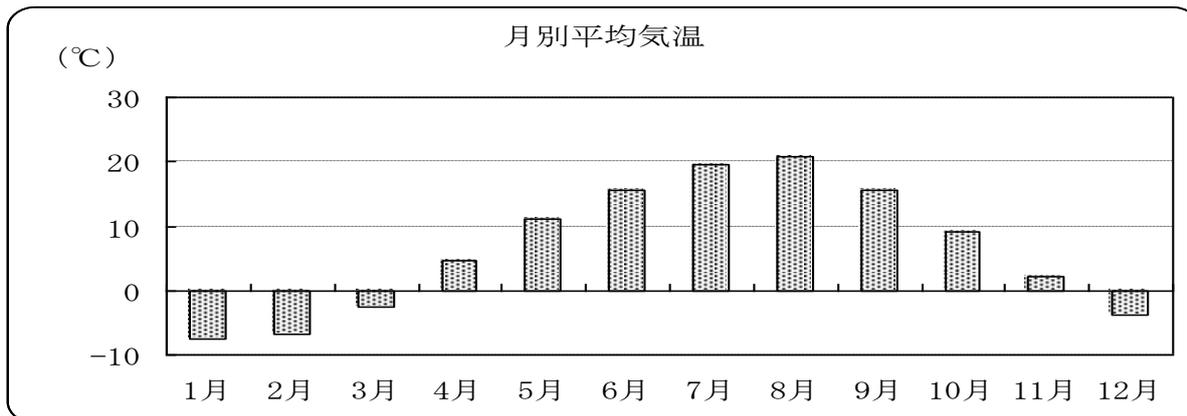
風向きは、地形の関係から南風又は南西の風が多い。季節的には冬期間は北風、夏期間は南風となっており、月平均の風速は4月、5月が最も強く3.5m前後であり、年平均2.5m前後である。4月、5月は温帯性低気圧による非常に乾燥した風が南西方向から吹く。湿度は、春の雪解けから初夏にかけて低く冬期間に高い。

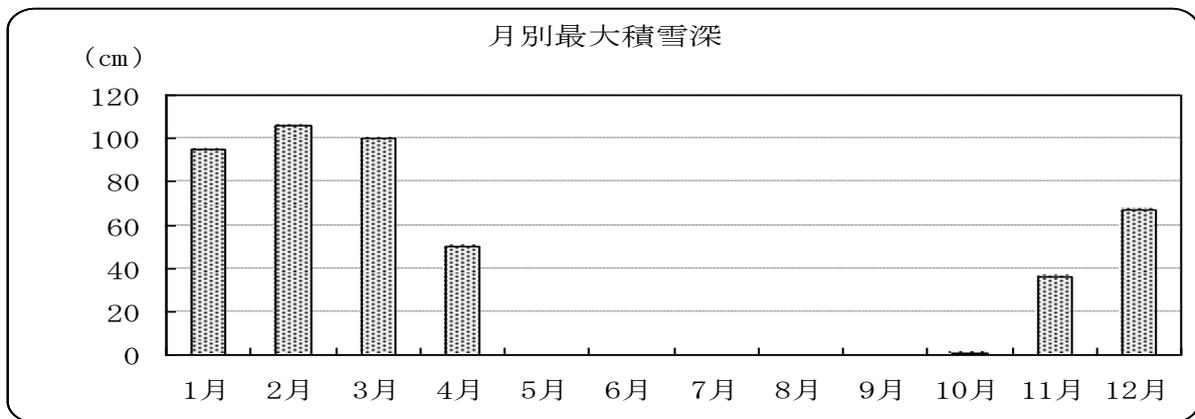
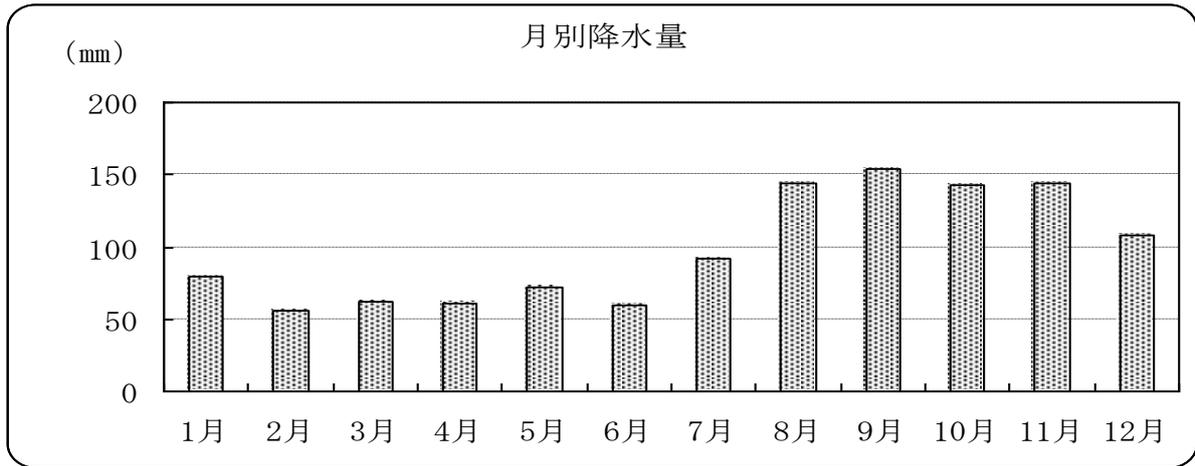
気象庁の滝川市気象データ月別平均気温、最高気温、最低気温、平均風速、日照時間、降水量、最大積雪深は、表及びグラフで表示する。

滝川市の気候

項目	平均気温	最高気温	最低気温	平均風速	日照時間	降水量	最大積雪深
単位	℃	℃	℃	m/s	時間	mm	cm
統計期間	1979～ 2000	1979～ 2000	1979～ 2000	1979～ 2000	1987～ 2000	1979～ 2000	1982～ 2000
資料年数	22	22	22	22	14	22	19
1月	-7.4	-3.9	-11.7	2.1	67.6	79.4	95
2月	-6.8	-2.9	-11.6	2.2	104.1	55.5	106
3月	-2.5	1.2	-6.9	2.5	146.9	61.5	100
4月	4.7	9.4	0.1	2.9	166.9	61.1	50
5月	11.0	16.6	5.8	3.0	188.5	71.7	0
6月	15.6	20.9	11.1	2.5	170.3	59.4	0
7月	19.6	24.5	15.7	2.3	165.0	92.2	0
8月	20.7	25.5	16.7	2.1	155.8	144.5	0
9月	15.7	21.1	11.1	2.1	152.1	154.5	0
10月	9.2	14.4	4.5	2.3	129.7	142.9	1
11月	2.2	5.8	-1.3	2.5	67.9	143.8	36
12月	-3.8	-0.8	-7.2	2.3	49.2	107.6	67
全年	6.5	11.0	2.2	2.4	1,568.5	1,213.5	111

資料：気象庁





(3) 人口分布

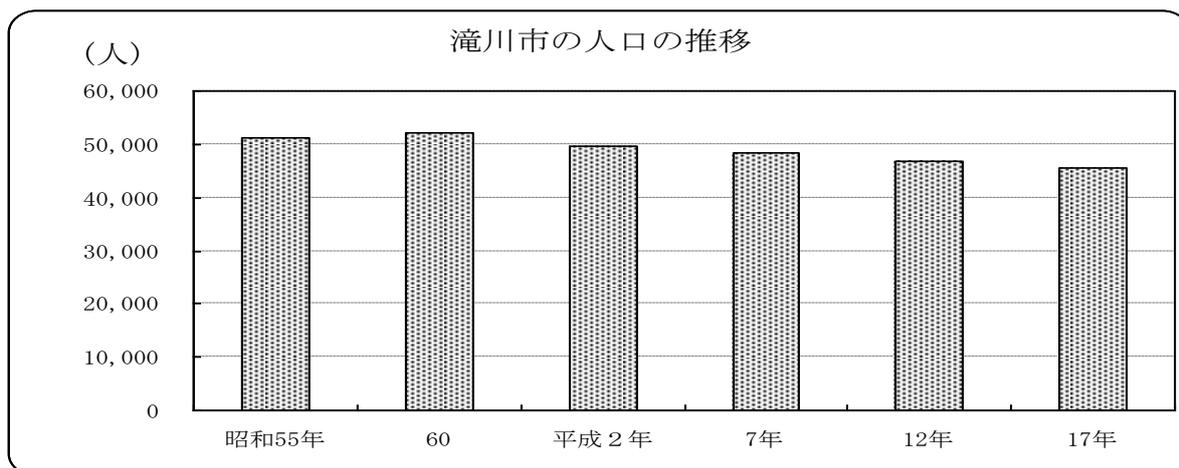
本市の人口は、市統計資料によると昭和58年次をピーク（53,121人）として、平成17年次国勢調査では45,562人と減少傾向を示している。

滝川市の人口推移及び年齢3区分別人口割合の推移は、表及びグラフで表示する。

滝川市の人口

年次	人口(人)			総数の対前回比	
	総数	男	女	増減数	率(%)
昭和55年	51,192	25,075	26,117	-	-
60年	52,004	25,072	26,932	812	1.6
平成2年	49,591	23,443	26,148	△2,413	△4.6
7年	48,425	22,835	25,590	△1,166	△2.4
12年	46,861	22,095	24,766	△1,564	△3.2
17年	45,562	21,557	24,005	△1,299	△2.8

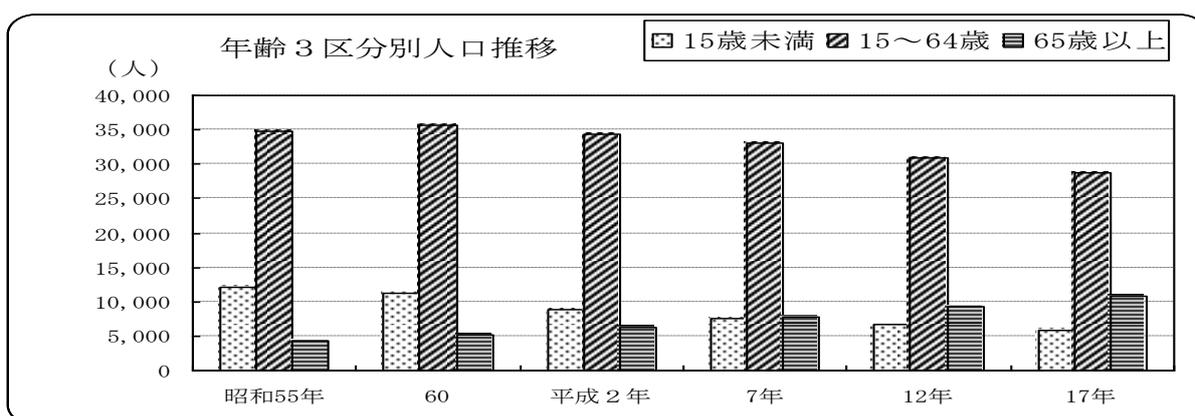
資料：国勢調査



年齢構成別人口 (構成比：%)

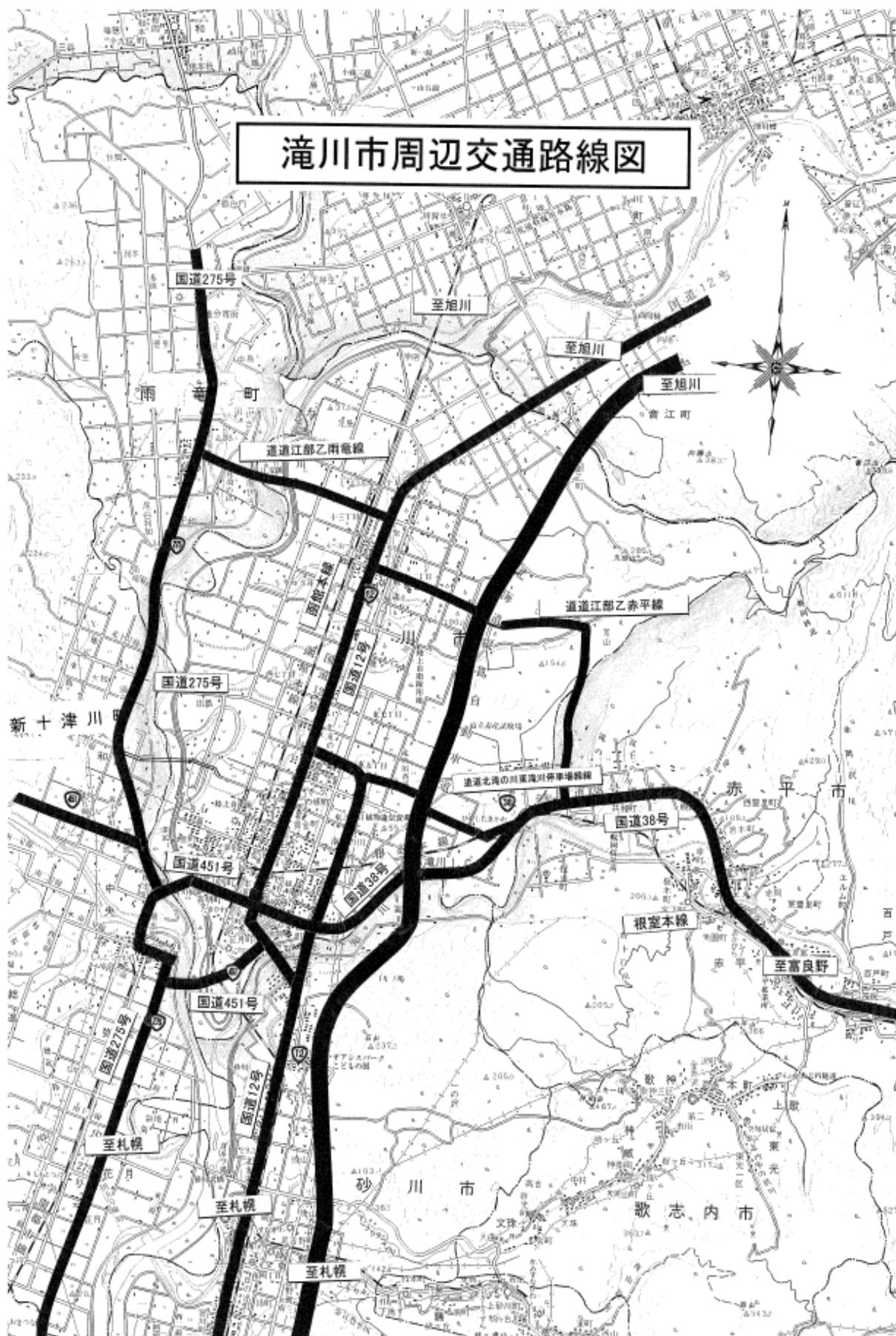
年次	総数	15歳未満		15～64歳		65歳以上	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
昭和55年	51,192	12,140	23.7	34,737	67.9	4,304	8.4
60年	52,004	11,146	21.4	35,671	68.6	5,186	10.0
平成2年	49,591	8,862	17.9	34,351	69.3	6,372	12.8
7年	48,425	7,570	15.6	33,093	68.3	7,762	16.0
12年	46,861	6,638	14.2	30,867	65.9	9,356	20.0
17年	45,562	5,813	12.8	28,843	63.3	10,906	23.9

資料：国勢調査



(4) 幹線道路網

本市は、北海道の大動脈である道央自動車道により、広域交通の確保が計られているほか、一般国道12号で札幌市・旭川市の道央圏域を連絡し、38号では滝川市と釧路市の道東圏域を連絡、451号では、滝川市・留萌市の日本海沿岸を結ぶ等重要路線を結束する交通の要衝となっている。



(5) 鉄道の位置

鉄道は、札幌・旭川を結ぶ函館本線と、滝川・釧路を結ぶ根室本線の終点となっており、交通の要衝となっている。

(6) 自衛隊施設等

自衛隊施設は、市内に陸上自衛隊滝川駐屯地があり、第10普通科連隊、滝川駐屯地業務隊、第345会計隊、第314基地通信中隊滝川派遣隊、第120地区警務隊滝川派遣隊、北部情報保全隊滝川情報保全派遣隊が駐屯している。

駐屯地は、滝川市・砂川市・芦別市・赤平市・歌志内市・石狩市・新十津川町・奈井江町・浦臼町・上砂川町・当別町の6市5町の災害派遣任務を有している。また、他の施設として、滝川駐屯地滝川演習場も備えている。

(7) その他施設等

北海道電力(株)西滝川変電所、滝川ガス(株)、中空知広域水道企業団、電気通信施設、ダム施設等

(8) 国民保護措置を実施する上での課題

滝川市の地理的状況は、大きな河川に挟まれた地域で、隣接市町村とは長大橋で連絡しており、武力攻撃事態等においては状況に応じた避難の検討と、水道施設が破損した場合の補助的施設利用等検討が求められる。